

# 天理教 江南支部だより

発行先 江南支部  
発行日 立教186年6月1日  
発行責任者 福西 努  
発行住所 甲賀町上野461番地9  
6月号 N0275



教祖百四十年祭

## 好天の元 全教一斉ひのきしんデーを開催 4月29日

4月29日、心配したお天気も好天のご守護を頂き、本年の全教一斉ひのきしんデーを組ごとに勇んで実施した。コロナ禍の中で自粛せざるを得なかった時期もあったが、本年は少年会員も大勢参加し笑顔あふれるひのきしんデーとなった。

会場は、甲南組は甲南第一地域市民センター、信楽組は信楽荘、甲賀組はB&G海洋センターで実施した。尚、甲南組は追加会場として5月13日にやまなみ工房でも草刈りを中心に実施した。信楽組は6月4日紫香楽病院で実施の予定。



信楽組会場



甲南組会場



甲賀組会場

## 朝の信仰読本

中山慶純著

### 素直に謝ることができませんか？

先日、知人の女性からこんな話を聞きました。

電車で隣に座っていた若い女の子たちが、キャツキヤとやかましくしゃべっていた。見かねた女性が、「あなたたち、そんなに大声で騒ぐと、周りの人の迷惑になりますよ」とたしなめると、そのなかの一人が女性をキツと睨みつけ、「うるさいなあ」と言い返してきた。その女性はびっくりして、「言わなければよかった」と後悔したそうです。

しばらくして目的の駅に着いたので、そそくさと電車から降りると、なんと、その女の子も一緒に降りてきた。「どうしよう、まだ何か言われるのかしら……」と内心ビクビクしていると、その子は「さつきはごめんなさい。今度から、うるさくしないように気をつけます」と頭を下げて、車内に戻っていったそうです。女性は「声をかけてもらって、胸のつかえがスーッと下りました」

と、にこやかに話してくれました。程度之差こそあれ、生まれてこの方、一度も失敗や間違いをしたことがないという人は、おそらくいないでしょう。仕事でのミス、あるいは身近な人との関わりの中かで、「あれは失敗だったな」と後悔している出来事の一つや二つは、誰にでもあると思います。

大切なことは、自分の間違いを認め、相手に素直に謝ることです。

この女の子たちの振る舞いや女性への失言は、もちろんいけないことです。けれども、自分の非を認めてきちんとして謝った女の子は、とても立派だと思います。

この話を妻にしたら、「その子はきつと良い子に育って、将来、立派な人になりますね。でも、できれば最初から良い子がいいですよね」と返ってきました。

わが家にも孫がいますが、まだ幼いので、やって良いことと悪いことの間別がつかず、両親によく叱られていきます。でも、素直に「ごめんなさい」と謝る姿を見て、私はホッと安心していきます。もし、怒られたことに腹を立て、

ふてくされた態度を取ったら、残念な気持ちになるでしょう。

人間の親である親神様も、きつと同じように思われるのではないのでしょうか。

どれだけ気をつけていても、人間失敗するときはするし、間違うときは間違えます。自分の過ちを素直にお詫びすることはもとより、その出来事を通じて、少しでも成人させていただけける方法を、教えを通じてしっかりと学んでいただきたいと思えます。そして、学んだことを子や孫に伝えるとともに、私たちも良いおじいちゃん、良いおばあちゃんへと育つ努力を、いつまでも続けたいものです。



## みんなの教理勉強

だめの教えって素晴らしい

飯田照明

だめ（究極）の教えの何とありがたいことか！

キリスト教、仏教、イスラームと比べ  
て

### 史上空前の教祖ひながたである

教祖は人をたすけるため、八十歳前後から十七、八回も警察、監獄、留置場にご苦労くださった。最後のご苦労は御年八十九歳であった。時は厳寒のさなかであった。吹きさらしのような留置場で十二日間拘留された。この年齢の方としては人類史上、前例のない空前絶後のことである。しかも拘留中、毅然とされつつも、監視をする警吏に對しさぞ疲れているだろうと、菓子を買って与えようとされた。凍え死にしようとした中にながら、可愛い子供（人間）を喜ばせてやりたい、たすけたい御心を持ち続けられた。世界の歴史のどこにも見られない尊い教祖である。

### 教祖はいつまでもご存命で世界だすけにかけめぐっておられる

教祖は、人間を早くたすけたい一条から定命を二十五年縮められて、御年九十歳で現身をお隠しになったが、今もどばにご存命であり、世界だすけに

お働きくださっている。

弘法大師空海は、高野山の奥の院で弥勒菩薩が下生する五十六億七千万年後まで生きて待つていという。

しかし、これは空海が生前に予言したことではない。空海は次の言葉を残して亡くなっている。「生れ、生れ、生れて、生の始めに暗く、死に、死に、死に、死んで、死の終わりに冥し」。空海生存説は弟子たちのいつまでも生きていてほしいという強い願いが作った信仰である。その厚い深い信仰心を讃えたい。

教祖ご存命の理については、「おさしづ」で「さあ／＼扉を開いて／＼、一列ろくぢ。さあろくぢに踏み出す」と仰せられている。また可愛い人間を救けるため、「二十五年先の命を締め、今からたすけするのやで」とか、「二十年以前にかくれた者やで。なれど、日々働いて居る」とおおせられている。

身体という被いを取りはずし、世界を駆け巡って、人間と世界をたすける

ために現身を隠されたのである。世界だすけのための現身の超脱である。

弥勒菩薩の下生を待つ空海の生き通し信仰と、世界一れつをたすけるため、ご存命の理との違いは比較にならない。空海のは、いつまでも生きてほしいという信仰者たちの願いが作りだしたものである。教祖のご存命の理は現身は隠すが、これから世界を駆け巡って世界だすけをしたい、との親神さまの親心の具現である。

### はじめて、人間の本当の親を教えられた

セム系の宗教にも、創造についての教えがある。ちなみに仏教にはない。しかし教祖の教えほど、具体的に事細かく、人間をどのように創り、生み出し、育ててきたかについて述べられた教えは他にない。本当の親なればこそ、人間創造や成長の本當のことを明らかにしてくださったのである。真の親でなければわからない、創生と育成の真理が説き明かされたのである。

# 立教186年 7月2日（日）

「ようぼく一斉活動日」が、参加するようぼくにとって年祭活動の力となるように、祈りを込めておつとめをつとめます。また、表統領のご挨拶を受けて、あらためて開催の思いに触れ、実りある「ようぼく一斉活動日」を実施できるように、準備を進めることを誓い合います。

○午前10時30分 本部東礼拝場集合

■おつとめ

■表統領 挨拶

○引き続き東講堂前へ移動

■ひのきしん（除草清掃）

※雨天時は回廊拭きに変更

軽作業ができる服装で  
ご参加ください。

帽子、軍手、カマ、草を  
入れる袋、腰をおろす敷  
物等をご持参ください。

昼食の用意はありません。

## 支部婦人会が委員部長の集いを開催



5月11日午前9時半より鹿深分教会を  
会場に委員部長の集いを開催。  
琴三弦 山本先生ご夫妻を講師に招い  
て、女鳴り物の保管の仕方、取り扱い方  
など全般を詳しく教えていただいた。  
午後からは、婦人会成人の集いの日程な  
どを話し合い有意義な時間を過ごした。

### 子供横丁設営ひのきしんについて

本年は、こどもおちばがえりが規模を縮小して実施されることになった。滋賀教区は京都教区と合同で子供横丁を担当することになり、下記の通り、設営のひのきしんを募集している。参加される方は、所属の教会か「こどもおちばがえり担当者」の龍池分教会長（小林治雄）☎86-3718までご連絡ください。

6月13・14・16・17・19・23・24・25・27・28日午前9時～

甲賀学園鹿深の家除草ひのきしん

第1回 6月5日午前9：00～11：30

第2回 7月4日午前9：00～11：30

### 6月支部にをいがけデー

6月28日午前9時～

拠点教会 大原市場分教会 甲賀町大原市場22番地5

---

---

**2月の支部にをいがけデー**

**2月28日（火曜日）午前9時より**

**拠点教会 雲井分教会 信楽町黄瀬661番地**

**いよいよ年祭活動スタートです。**

**勇んでつとめましょう！**